

【政務活動報告書（県内）】（平成29年度分）

銀杏泰利分

年月日	活 動 先			政務活動の内容	関連領収書 番号
	住 所	活動先の名称	対応者		
29/06/27	鳥取市	駅構内喫茶店	「とっとり希望化 計画21」山岡理 事長	空の駅計画について県民の意 見聴取（駐車料金）	33
30/02/10	鳥取市	㈱アクシス	空の駅おやじの 会	空の駅おやじの会結成式参加 （駐車料金）	127
30/02/20	鳥取市	ホテルニューオータニ 鳥取	日本海政経懇話 会	日本海政経懇話会例会参加 （駐車料金）	139
29/11/01 、11/02	県西部、 中部	協同組合レングス、デ ジタルハリウッドSTUDI O米子、県立農業大学校、 鳥取県園芸試験場	左記活動先の責 任者	公明党鳥取県議会議員団・会 派希望県内政務調査活動	81, 83, 84, 85, 105
29/11/24	鳥取市	ホテルニューオータニ 鳥取 鶴の間		第22回北前船寄港地フォー ラムin鳥取レセプション参加 と意見交換	87

県内政務活動に要する交通費（JR等運賃、タクシー代）及び宿泊費を充当する場合に記載すること。

政務活動報告書（平成29年度）

活動事項	中国五県森林議員連盟による森林環境税の勉強会		
活動年月日	平成29年5月1日		
場所	ホテルグランヴィア岡山		
活動の相手方	<ul style="list-style-type: none"> ・中国五県森林議員連盟議員 ・三浦正充 林野庁林政部部長、小坂善太郎 林野庁森林整備部計画課課長 ・市川靖之 総務省自治税務局環境税制企画室長 		
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】</p> <p>今後、国に於いて導入が検討されている「森林環境税（仮称）」について、中国各県議会の森林関係議員連盟役員を中心に勉強会と意見交換会を開催した。</p> <p>【内容】</p> <p>関係省庁である、林野庁と総務省の責任者による講演をお聴きし、地方の声を反映させるための意見交換会をおこなった。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、林野庁三浦部長より「森林環境税（仮称）の検討状況について」と題し講演 2、総務省市川室長より「森林環境税（仮称）について」と題し講演 3、中国各議員連盟役員より、林野庁、総務省への質問ならびに意見 <p>【結果（成果）等】</p> <p>管理されていない森林に対して市町村が管理するという方向性に対して、人材と財源、並びに森林管理に対して都道府県の関与がなくなることへの懸念が示された。また、現在都道府県で徴収されている超過課税との二重課税になる問題に対する対応策、税の徴収や配分方法、使い途に対しての国民の理解を得る方が議論された。</p> <p>今年本格的に議論され、平成30年度制定を目指しているなどのスケジュールも示された。</p>		
関連領収書番号	伝票No.	7	仮No. H01-a

政務活動報告書（平成29年度）

活動事項	鳥取砂丘コナン空港の「空の駅」化をすすめる議員研究会 県外視察		
活動年月日	平成29年5月31日、6月1日		
場所	山形県庁、山形空港事務所		
活動の相手方	<ul style="list-style-type: none"> ・福島孝一 山形県企画振興部総合交通政策課課長補佐 ・藤岡俊裕 同観光文化スポーツ部インバウンド国際交流推進課課長補佐 ・三條義浩 山形空港事務所所長、海野勝志 副所長 ・今村泰也 山形空港ビル株式会社専務取締役 		
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 羽田発着枠政策コンテストコンテストの競争相手でもある「おいしい山形空港」のインバウンド対策、空港の魅力づくりを視察調査する。</p> <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、東北他県と広域的に、県内民間と責任分担して協議会運営している。 2、インバウンドでは、団体旅行が減少するなかで、唯一台湾は団体客も多い。観光スポットに蔵王・樹氷を定め、現地の台湾で情報拡散・CMを大々的に行って成功している。 3、「おいしい山形調査隊」という民間団体が空港ホームページを作って宣伝していて、民間ならではの自由さで、大変魅力的である。 4、日本らしい雰囲気のできる鎧兜を着て外国人観光客を出迎え写真撮影をするなど、おもてなしの出迎えが好評を博している。 5、山形空港も鳥取砂丘コナン空港と同じく2000m滑走路だが、欠航は少ない。雪は多いが、除雪作業に問題はない。 <p>【結果（成果）等】</p> <p>以下の課題について、県主導で取り組むよう働きかける。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、他県と協働し広域で、また民間も取り込み責任を明確にして取り組む。 2、インバウンドでは、核となる観光スポットを定め、集中的に宣伝する。 3、民間の自由な発想で、魅力的な宣伝・発信を行う。 4、日本らしい、鳥取らしいおもてなしを全面に出していく。 5、鳥取砂丘コナン空港の滑走路を延長すること。 		
関連領収書番号	伝票No.	20～23	仮No. H02-a, b

（H02－報告書）

政務活動報告書（平成29年度）

活動事項	山陰海岸ジオパーク推進三府県議会議員の会総会・現地調査		
活動年月日	平成29年8月25日		
場所	京丹後市役所丹後庁舎、琴引浜鳴き砂文化館		
活動の相手方	山陰海岸ジオパーク推進協議会会長代理 事務局 和多田企画課長 京都府知事代理 京都府丹後広域振興局 西村局長 兵庫県知事代理 兵庫県但馬県民局 松浦ジオパーク参事 鳥取県知事代理 鳥取県生活環境部 酒嶋部長		
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】</p> <p>三府県議会の関係議員で構成する議員の会（議員連盟）の定期総会をおこない、29年度の推進体制を決める。また、関係機関へのジオパーク推進の要望内容を決定するとともに、要望書を提出する。京都府内のジオパーク施設で現地調査をおこなう。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山陰海岸世界ジオパークは三府県にまたがる地域が指定されているため、一体的な取り組みには府県間の連携が欠かせない。そのため、三府県議会で構成する議員連盟は大きな役割を果たしてきている。 ・総会では、役員体制を決定するとともに、関係機関への要望内容を決定した。 ・事業計画として、①国、国会、三府県知事、山陰海岸ジオパーク推進協議会会長への要望活動、②関西広域連合並びに議会へのPR、③平成30年度の世界ジオパークの再認定審査に向けての支援、④山陰海岸ジオパーク120kmウォークの開催への支援、⑤ジオパークへのアクセス向上に対する支援、を決定した。 ・京丹後地域のジオパーク施設「琴引浜鳴き砂文化館」で、ジオパークの成り立ち、特長などを現地調査した。 <p>【結果（成果）等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山陰海岸世界ジオパークは、三府県にまたがる地域の為、よく連携をして取り組むことが求められている。行政にはそうした横の連携が少ないので、三府県議会で連携を取っている。この議員の会の活動、特に推進協議会、府県知事、国機関、国会への要望活動・提案、また各議会での質問・提案が大きな成果を上げてきている。今後も活発に活動を進めていく。 		
関連領収書番号	伝票No.	158	仮No. H15-a~d

政務活動報告書（平成29年度）

活動事項	石井国土交通大臣への県内航空路線・高速道路の要望活動		
活動年月日	平成29年11月13日		
場所	国土交通省		
活動の相手方	石井啓一 国土交通大臣		
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 県内交通網整備について、要望し実現を図る。</p> <p>【内容】 以下の点について要望をおこなった。</p> <p>1、地方航空路線の維持・拡充について</p> <p style="padding-left: 20px;">①羽田－鳥取線の5便以上、羽田－米子線の6便以上を恒常化するための発着枠確保</p> <p style="padding-left: 20px;">②今後の地方空港への国際便就航を図るために、海外航空会社が求めている滑走路2,300m化（または2,500m化）整備</p> <p>2、高速道路ネットワークの早期整備について</p> <p style="padding-left: 20px;">①県内高速道路網の全面開通と整備</p> <p style="padding-left: 20px;">②高速道路網を補完する地域高規格道路網の整備促進</p> <p style="padding-left: 20px;">③高速道路網の4車線化と付加車線の整備</p> <p>【結果（成果）等】 大臣からは、以下の返答を頂いた。</p> <p>1、①空港の発着枠確保については、便は航空会社が決めるので国交省には権限がない。</p> <p style="padding-left: 20px;">②滑走路延長については、鳥取砂丘コナン空港は県営空港のため、国主導とはならない。</p> <p>2、高速道路ネットワークについては、概ね了解して頂いた。</p> <p style="padding-left: 20px;">今後とも、県行政や国に働きかけをおこない、実現を図っていく。</p>		
関連領収書番号	伝票No.	86, 96, 97	仮No. H05-a, b

政 務 活 動 報 告 書 (平成29年度)

活 動 事 項	国スポーツ強化施設視察と地方財政・地方交付税勉強会		
活 動 年 月 日	平成29年11月14日		
場 所	日本スポーツ振興センター（国立スポーツ科学センター内） 参議院議員会館会議室		
活 動 の 相 手 方	岸 千秋 日本スポーツ振興センター ハイパフォーマンス戦略部調整役 上野 絢子 財務省主計局調査課課長補佐 進 龍太郎 総務省自治財政局交付税課理事官		
目 的 ・ 内 容 ・ 結 果 等	<p>【目的】 県内スポーツ振興のための選手強化対策の研究 鳥取県財政の健全化のための国機関からの方策聴き取り</p> <p>【内容】 国立スポーツ科学センター、味の素ナショナルトレーニングセンターでは、2020年東京オリンピックに向けた国の先進的な選手強化対策をお聴きした。 参議院議員会館会議室では、財務省主計局の担当者による「財政健全化に向けた取組について」、総務省自治財政局からは「地方交付税制度」について学習した。</p> <p>【結果（成果）等】 スポーツ選手の強化については、県内または広域で一元的に強化施設を設ける必要性がよくわかり、東京オリンピックキャンプ地誘致や国内外の大会招致にむけたトレーニング施設の設置の参考になった。 またスポーツ選手の健康対策として食堂を視察したが、個々の選手に応じた食事・食材対策が必要不可欠であることがわかり、今後活かしていく。 鳥取県財政の今後について、国の施策を勉強することで参考になった。 県財政健全化のための議会議論に役立てていく。</p>		
関連領収書番号	伝票No.	86, 98	仮No. H05-a, c01~11

政務活動報告書（平成29年度）

活動事項	山陰海岸ジオパーク3府県議会議員の会 国・国会への要望活動		
活動年月日	平成29年11月14～16日		
場所	環境省、文化庁、内閣府、衆議院議員会館、参議院議員会館		
活動の相手方	亀澤玲治 環境省自然環境局長、山崎秀保 文化庁文化財部長、 築島明 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局参事官、 ・ジオパークによる地域活性化推進議員連盟役員・会員（国会議員） 衆議院（石破茂、谷公一、赤澤亮正、斉藤鉄夫、本田太郎、他4名） 参議院（舞立昇治、青木一彦、谷合正明、山本博司）		
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 国、国会においてジオパーク支援を推進するよう要望をおこなう。</p> <p>【内容】</p> <p>○ジオパーク要望内容は</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ジオパーク活動を機能的かつ一体的に支援する体制を充実すること ②国内外への認知・PRを十分に行うこと ③広域にわたる地域への対策やアクセスなどを支援すること ④訪日外国人の受入体制を充実すること ⑤首都圏等の国際空港から地方空港を結ぶ観光ルートを整備すること ⑥山陰海岸に並走している鉄道ダイヤの充実を図ること <p>○環境省は最も関心が高く、新たに人材への支援も期待できた。</p> <p>○文化庁で、ジオパーク窓口はユネスコの窓口である文部科学省国際統括官との指摘を頂く。来年以降の要望先を変更する必要がある。</p> <p>○内閣府は、山陰海岸もDMOということで、地方創生交付金を決定された</p> <p>○国会議員要望で頂いた意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織体制見直し、三府県にまたがる運動やイベントで一体感の醸成必要 ・三府県連携のため事務局体制の強化が必要であり、兵庫県に対して事務局への支援を強力に働きかける。 ・ロングトレイルや自転車・ロングバイクの取り組みをおこなうべき ・山陰本線の特急列車やジオライナー増発など要望強めるべき <p>【結果（成果）等】</p> <p>○要望活動を通じて、条件付き再認定に対して危機感を共有することができた。今後関係議員・省庁の応援を得ながら対策をおこなう必要がある。</p> <p>またアクセス強化のため、鳥取砂丘コナン空港の多便化継続、滑走路延長の必要性が共有できた。</p>		
関連領収書番号	伝票No.	86, 99	仮No. H05-d01, 02

（H05－報告書d）

政務活動報告書（平成29年度）

活動事項	鳥取砂丘コナン空港の勉強会(国土交通省航空局)		
活動年月日	平成29年11月16日		
場所	柵屋衆議院議員事務所（衆議院議員会館内）		
活動の相手方	江川亜由美 国土交通省航空局航空ネットワーク部航空事業課企画調整官 近藤祐典 同航空事業課調査係 細見暁彦 国土交通省航空局航空ネットワーク部空港計画課課長補佐 井上真一 同空港計画課専門官		
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 鳥取砂丘コナン空港の羽田便増便と滑走路延長の可能性をさぐる。</p> <p>【内容】 以下の点について鳥取砂丘コナン空港の拡充の可能性をさぐる。 ①羽田発着便増加と発着枠政策コンテスト拡充の可能性について ②滑走路延長（2,300mまたは2,500m化）整備の可能性について</p> <p>11月13日、石井大臣からは、どちらについても国の支援は難しいとの返答があり、具体的に可能性があるのか、あればどこまでが可能か担当者から聴き取り調査をおこなった。</p> <p>【結果（成果）等】</p> <p>1、便数は、国交省が各航空会社に枠を振り分ける。その便数のなかで航空会社が行き先を決定する。政策コンテストで落ちても全日空が他の便を鳥取に回せば5便は続くし、今の5便に他から回ってきて6便にもできる。要は搭乗者を増やして航空会社と交渉すればいいということ。</p> <p>2、滑走路は、何mとか関係なしに50%補助の制度がある。ただその制度に乗るかどうかは、こちら側の努力次第である。</p>		
関連領収書番号	伝票No.	86,100	仮No. H05-e

政務活動報告書（平成29年度）

活動事項	県内空港の「空の駅」等をすすめる議員連盟による (株)ピーチアビエーション訪問調査		
活動年月日	平成30年1月29日		
場所	関西国際空港内エアロプラザ		
活動の相手方	ピーチアビエーション株式会社 営業統括本部 マーケティングコミュニケーション部 地域創生課 小笹俊太郎 マネージャー 大野若菜 地域創生スペシャリスト		
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 鳥取県内空港国内線のダブルトラック化の可能性をさぐる。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピーチ航空は、国内14路線、国外14路線の計28路線を就航している。 ・拠点空港は、関西国際空港、那覇空港、新千歳空港、仙台空港である。 ・自社でパイロットを養成している。機材も増やす予定。2020年東京オリンピック・パラリンピック後に航空路線拡大などに向かいたい。 ・ピーチ航空の利用者は20～30代が多く、女性も多少多い。外国人が7割を占め、SNSやネットで調べて来る。 ・最近の海外旅行者は、行き先を決めてから何をするかではなく、やりたいことを決めてからSNSで旅プランを調べて来る。よって、訴求力があるものを地域で検討して、ピーチ側にも教えてほしい。そういう紹介アプリや旅プラン予約サービスを持っている。 <p>【結果（成果）等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・待っているのは商機はつかめない。何を売り込みたいのか、何が関心を集めるのかを本県側でよく検討し、ピーチ社側が飛びつきたくなるような素材を提供する必要がある。 ・ピーチ航空の内情があり、2020年以降の定期便やチャーター便就航を目標に取り組むべきと感じた。その際、外国人観光客を中心に、関空や那覇空港からのトランジットの可能性を感じた。 ・面談者は宮城県と沖縄県の元行政マンだった。仙台空港と那覇空港が同社の拠点空港に位置付けられている故かと納得した。本県からピーチ社に人材を派遣することも有効だと感じた。 		
関連領収書番号	伝票No.	124, 143	仮No. H08-a